

資料モデル 1

「選挙の大切さについて」

コンセプト

選挙制度の意義や目的について、選挙の歴史や制度の特徴などを踏まえてわかりやすく説明する。

概要

選挙の4原則を始め、日本の選挙制度について説明する。また、戦後普通選挙に移行して初めて平等な選挙ができるようになったことから、投票という権利を行使できるのは「大変幸せなことだ」という認識を児童・生徒に持ってもらう。

選挙はなぜ必要か？



もし、選挙制度がなかったら…

占いでリーダーを決定



権力者が世襲制で統治



選挙の4原則

その1

普通選挙

財産や納税の有無、性別等に関わらず、一定の年齢に達した時に選挙権・被選挙権が生じる

その2

平等選挙

選挙権は1人につき1票とされ、有権者が行う全ての投票は平等に扱われる

その3

秘密選挙

有権者の投票の自由を担保するため、誰に投票したかわからないようにするよう無記名で投票を行う

その4

直接選挙

一般の有権者が選挙により議員や首長を決める

今の選挙制度ではなかったら…

秘密選挙ではなかったら…

**誰がどの候補者に
投票しているか、
わかってしまう！**

普通選挙ではなかったら…

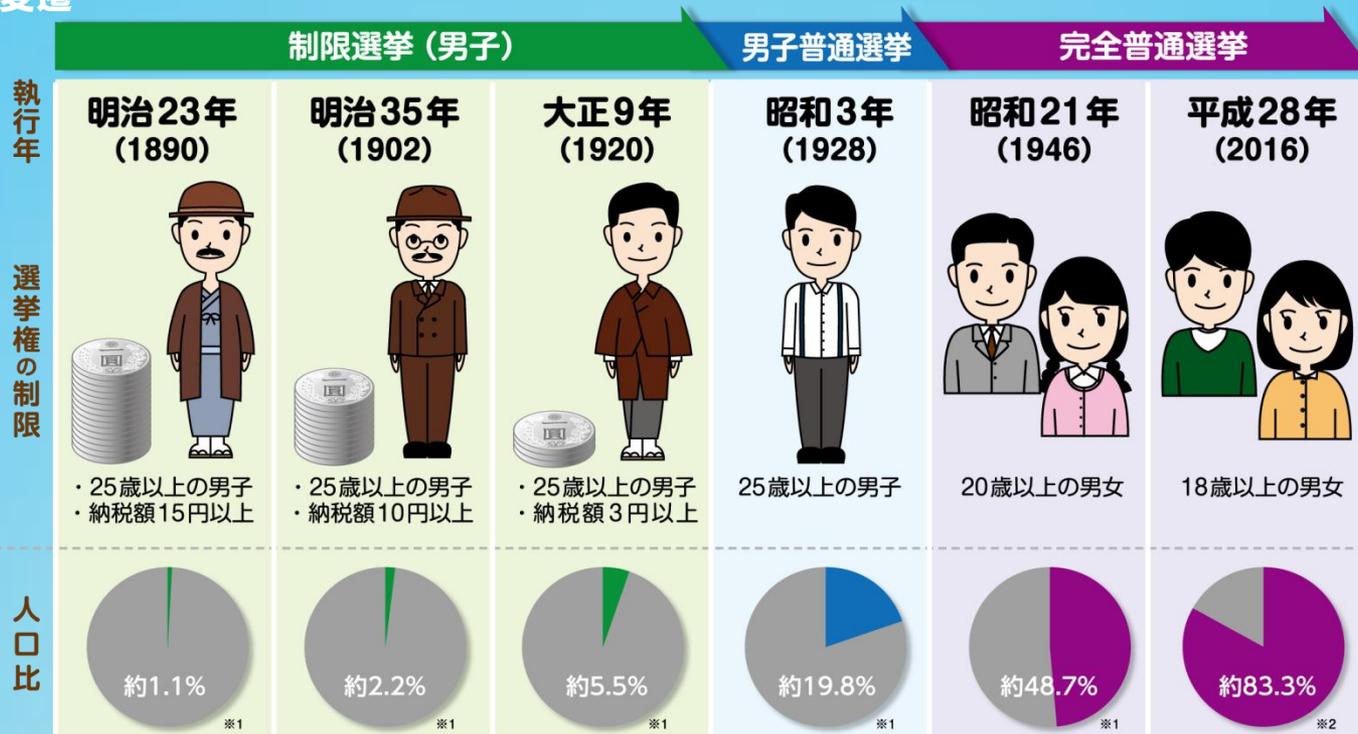
**お金持ちしか
投票できない！**

つまり

公正な選挙が実施できない！

戦前の選挙制度

選挙権の変遷



※1 有権者の人口比は、法改正後初めて施行された国政選挙時のもの(総務省統計局作成資料より)

※2 平成26年10月1日時点の日本の全人口に占める18歳以上の日本人の割合(総務省統計局「人口推計」より)

つまり

戦前までは、一部の人がしか投票できなかった！

投票は国民の重要な権利

- ✓ 今の選挙制度では当たり前前のが、
数十年前まではできませんでした。
▼
- ✓ 成熟した法治国家に住む一員として、
政治について考え、投票に行くことは、
当然のことと考えてください。
▼
- ✓ 自分達の生活に大きな影響を与える選挙に関心を持たないのは、社会人としていいことでしょうか。